

第5回 総合計画審議会
第2回 和束町まち・ひと・しごと創生推進会議
ご意見に対する計画（案）の見直しについて

第5回総合計画審議会及び第2回和束町まち・ひと・しごと創生推進会議での各委員の意見を踏まえ、下記のとおり見直し案について協議させていただきます。

No.	意見内容	見直し案
1	○家族で移住してもらえよう、教育の充実を図ることが必要ではないか。 現案では魅力に欠けるため、生涯学習の観点から思い切った見直しが必要。	○新規事業を追加 学社連携したキャリア教育 【P57・P119】
2	○林業に関する作業は非常に危険なため、ボランティアではリスクが高い。林業活性化に向けた内容で、計画の修正が必要。	○施策方針及び指標を変更 緑化意識の高揚と森林の利活用促進 【P73・P76】
3	○トンネル開通によって、林道からの不法投棄のますますの増加が懸念される。防犯カメラ等の設置を検討できないか。	○施策方針に重点場所を追加 犬打峠開通後の宇治木屋線のパトロール強化 【P75】
4	○後継者不在により畑の荒廃を防ぐとともに、新規就農者等が優良な農地で事業継続ができる仕組みを作る必要がある。	○新規事業を追加 新規就農者の農地確保や家族経営者の人手確保の支援 【P78・P112】
5	○季節労働者向けに農家による空家の確保に対する支援策が必要。	○施策方針や事業の修正 関係団体と連携した支援体制の構築 【P88・P111】
6	○トンネル開通がR5年度に迫っているが、開通後の受け入れ環境の整備を検討するスピードが遅い。 ○町が住民をはじめ関係者を主導的に引っ張る体制や取組みが必要。 ○交流人口30万人を目指すなら、観光の受け皿も早急に整備を検討し、実行に移すべき。	○基本的方向と事業の修正 プロジェクトチームの設置及び取組み主体となる事業推進体制の構築を明記 【P113・P116】
7	○星野リゾートと締結した協定の取組に関する方向性を示すため、計画に具体的な内容を記載すべき。	○基本的方向と事業の修正 京都府及び星野リゾートとの協定による取組方向、具体的な事業を明確化 【P114】